

## 社 会（地理的分野）

### 1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

| 発行者の番号及び略称 |     | 教科書名                  |
|------------|-----|-----------------------|
| 2          | 東 書 | 新編 新しい社会 地理           |
| 17         | 教 出 | 中学社会 地理 地域にまなぶ        |
| 46         | 帝 国 | 社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土 |
| 116        | 日 文 | 中学社会 地理的分野            |

### 2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

| 観点  |                 | 視点                                       | 方法   |
|-----|-----------------|--|--|
| (ア) | 知識及び技能の習得       | ① 学習課題の示し方                               | 1時間ごとの学習課題の記載の仕方及び記載例                                    |
|     |                 | ② 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫            | 「日本の諸地域」における日本の地域区分、中核とした考察の仕方及び内容<br>領土をめぐる問題等に関する記載の仕方 |
|     |                 | ③ 国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識及び技能を身に付けさせる工夫 | 「世界の諸地域」の地域区分、主題（地球的課題）の記載及び知識及び技能を身に付けさせる記載例            |
| (イ) | 思考力、判断力、表現力等の育成 | ④ 見方・考え方を働かせるための工夫                       | 社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせるための記載例                              |
|     |                 | ⑤ 学習のまとめの工夫                              | 単元末のまとめにおける多面的・多角的に考察させるための具体例                           |
| (ウ) | 主体的に学習に取り組む工夫   | ⑥ 単元の導入における工夫                            | 各単元の導入における学習の見通しをもたせる工夫及び具体例                             |
|     |                 | ⑦ 課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための工夫             | 「地域の在り方」における調査の手順及び方法の記載例                                |
| (エ) | 内容の構成・配列・分量     | ⑧ 単元や資料等の配列・分量                           | 総ページ数、各大項目のページ数、巻末資料等の内容のページ数                            |
|     |                 | ⑨ 防災教育の充実                                | 「日本の地域的特色と地域区分」及び「日本の諸地域」における自然災害、防災及び減災に係る具体例           |
| (オ) | 内容の表現・表記        | ⑩ 学習内容との関連付けがなされた絵図・写真等の活用               | 資料の種類（二次元コードを含む）及び掲載数                                    |
|     |                 | ⑪ 掲載されている情報を精選し、視点を明確にする工夫               | ユニバーサルデザインに関する配慮がなされたフォント・グラフ及びレイアウト                     |

【社会（地理的分野）】

|           |                       |
|-----------|-----------------------|
| <b>観点</b> | <b>(ア) 知識及び技能の習得</b>  |
| <b>視点</b> | ①学習課題の示し方             |
| <b>方法</b> | 1時間ごとの学習課題の記載の仕方及び記載例 |

|    | 1時間ごとの学習課題の記載の仕方   | 記載例  |
|----|--|--|
| 東書 | ○ 「地球の姿を見てみよう」のようにタイトルを示している。タイトルの右横に「どのように／どのような～でしょうか。」等の表現で、1時間の学習課題を示している。   | 「世界の姿」   |
|    |  | ○ 「大陸と海洋は、どのように分布しているでしょうか。また、世界はどのように区分的ことができるでしょうか。」<br>○ 「地球上のさまざまな場所の位置を表すには、どのような方法があるでしょうか。」 |
| 教出 | ○ 「地図から見える世界」のようにタイトルを示している。タイトルの右横に「どのような～でしょうか。」「～比べましょう」等の表現で、1時間の学習課題を示している。 | 「世界の地域構成」  |
|    |  | ○ 「陸地と海の分布にはどのような特徴があるのでしょうか。」<br>○ 「世界の国々について、面積や人口に注目して比べましょう」                                   |
| 帝国 | ○ 「私たちの住む地球を眺めて」のようにタイトルを示している。タイトルの右横に「どのように／どのような～だろうか。」等の表現で、1時間の学習課題を示している。  | 「世界の姿」   |
|    |  | ○ 「地球上の大陸と大洋はどのように分布しているのだろうか。また、世界はどのように区分的ことができるのだろうか。」<br>○ 「世界の国々や都市の位置を表すには、どのような方法があるのだろうか。」 |
| 日文 | ○ 「地球の姿をながめよう」のようにタイトルを示している。タイトルの下に「どのように／どのような～でしょうか。」等の表現で、1時間の学習課題を示している。    | 「世界の地域構成」  |
|    |  | ○ 「地球上で、大陸や海洋はどのように広がっているのでしょうか。」<br>○ 「地球儀と世界地図には、それぞれどのような特色があるのでしょうか」                           |

【社会（地理的分野）】

|           |                                    |
|-----------|------------------------------------|
| <b>観点</b> | <b>(ア) 知識及び技能の習得</b>               |
| <b>視点</b> | ②我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫       |
| <b>方法</b> | 「日本の諸地域」における日本の地域区分、中核とした考察の仕方及び内容 |

|                | 日本の地域区分 | 中核とした考察の仕方        | 考察する内容（近畿地方）   |
|----------------|---------|-------------------|--|
| <b>東<br/>書</b> | 九州地方    | 自然環境              | ○ 人口や都市・村落に注目<br>1 近畿地方をながめて<br>2 大都市圏の形成と古都の歴史<br>3 ニュータウンの変化と農村の変化<br>4 山村・漁村の暮らしと地域の結び付きの変化                     |
|                | 中国・四国地方 | 交通や通信             |  |
|                | 近畿地方    | 人口や都市・村落          |  |
|                | 中部地方    | 産業                |  |
|                | 関東地方    | 交通や通信             |  |
|                | 東北地方    | 生活・文化             |  |
|                | 北海道地方   | 自然環境              |  |
| <b>教<br/>出</b> | 九州地方    | 自然環境とその保全         | ○ 歴史的な視点から、近畿地方の特色を<br>考えていこう。<br>1 歴史に育まれた地域<br>2 京都の街並みと伝統文化<br>3 阪神工業地帯の発展と今後<br>4 都市の成り立ちと広がり<br>5 琵琶湖の水の利用と環境 |
|                | 中国・四国地方 | 人口集中や人口減少         |  |
|                | 近畿地方    | 歴史的な視点            |  |
|                | 中部地方    | 産業                |  |
|                | 関東地方    | 交通・通信             |  |
|                | 東北地方    | 地域の伝統文化と産業の<br>変化 |  |
|                | 北海道地方   | 自然環境と関連する産業       |  |
| <b>帝<br/>国</b> | 九州地方    | 自然環境              | ○ 環境保全に注目して<br>1 近畿地方の自然環境<br>2 琵琶湖の水が支える京阪神大都市圏<br>3 阪神工業地帯と環境問題への取り組み<br>4 古都京都・奈良と歴史的景観の保全<br>5 環境に配慮した林業と漁業    |
|                | 中国・四国地方 | 交通や通信             |  |
|                | 近畿地方    | 環境保全              |  |
|                | 中部地方    | 産業                |  |
|                | 関東地方    | 人口や都市・村落          |  |
|                | 東北地方    | 生活・文化             |  |
|                | 北海道地方   | 自然環境              |  |
| <b>日<br/>文</b> | 九州地方    | 自然環境              | ○ 歴史的背景をテーマに<br>1 近畿地方の自然環境と人々のかかわり<br>2 現在にいきづく歴史的都市の特色<br>3 港町から世界へ<br>4 伝統を生かした産業と世界進出<br>5 歴史を未来へつなぐ取り組み       |
|                | 中国・四国地方 | 交通・通信             |  |
|                | 近畿地方    | 歴史的背景             |  |
|                | 中部地方    | 産業                |  |
|                | 関東地方    | 人口や都市・村落          |  |
|                | 東北地方    | 持続可能な社会づくり        |  |
|                | 北海道地方   | 自然環境              |  |

【社会（地理的分野）】

|           |                              |
|-----------|------------------------------|
| <b>観点</b> | <b>(ア) 知識及び技能の習得</b>         |
| <b>視点</b> | ②我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫 |
| <b>方法</b> | 領土をめぐる問題等に関する記載の仕方           |

| 領土をめぐる問題等に関する記載の仕方 |  |
|--------------------|--|
| <b>東<br/>書</b>     | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 北方領土・竹島と尖閣諸島 領土をめぐる問題をかかえる島々</li> <li>・項目 「地理的に見る島々の特色」「水産資源にめぐまれた竹島」「貴重な自然が残る北方領土」「資源が期待される尖閣諸島」</li> <li>・地図 「竹島、尖閣諸島、北方領土の位置」「竹島の2万5000分の1地形図」「北方領土周辺の地形」「歯舞群島がのる20万分の1地勢図」「久場島の5万分の1地形図」</li> <li>・写真 「竹島」「断崖に囲まれた竹島」「北海道の根室半島上空から見た歯舞群島」「自然環境にめぐまれた択捉島」「尖閣諸島の南小島、北小島、魚釣島」「尖閣諸島の久場島」</li> </ul>                         |
| <b>教<br/>出</b>     | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 日本の領土をめぐる 日本国境をめぐるさまざまな動き</li> <li>・項目 「北方領土をめぐる問題」「竹島と尖閣諸島」</li> <li>・年表 「北方領土に関する主なできごと」</li> <li>・地図 「北方領土とその周辺」「南東を上にして、日本海周辺を描いた地図」</li> <li>・写真 「ビザなし交流で根室港に到着したロシア側からの訪問団」「竹島」「尖閣諸島」</li> </ul>  |
| <b>帝<br/>国</b>     | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 日本の領域とその特徴</li> <li>・項目 「国際法に基づく日本の領土」「北方領土」「竹島」「尖閣諸島」</li> <li>・地図 「北方領土周辺の国境の移り変わり」「竹島の位置」「尖閣諸島の位置」</li> <li>・写真 「北方領土の島々」「日本国民と北方領土に住むロシア人との交流」「竹島」「隠岐の人々が行っていた竹島での漁の様子」「尖閣諸島」</li> <li>・読み物資料 「漁業が盛んだった昔の竹島」</li> <li>・注釈 「日本は、サンフランシスコ平和条約において、樺太（サハリン）の一部や千島列島を放棄しましたが、北方領土の4島はその放棄地に含まれていないという立場をとっています。」</li> </ul> |
| <b>日<br/>文</b>     | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 日本の領域をめぐる問題をとらえよう</li> <li>・項目 「北方領土」「竹島」「領土問題の解決に向けて」「尖閣諸島をとりまく情勢」</li> <li>・地図 「北方領土・竹島・尖閣諸島の位置」「北方領土付近の国境の変化」</li> <li>・写真 「羅臼町から見た国後島」「元島民らによる洋上からの先祖の慰霊」「竹島」「竹島に関する資料を展示する「竹島資料室」「尖閣諸島」「尖閣諸島の日本の領海に侵入する中国の船」「北方領土・竹島・尖閣諸島などに関する資料を展示する国立の施設「領土・主権展示館」」</li> </ul>  |

【社会（地理的分野）】

|           |   |  |
|-----------|---|--|
| <b>観点</b> | <b>(ア) 知識及び技能の習得</b>                          |  |
| <b>視点</b> | ③国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識及び技能を身に付けさせる工夫       |  |
| <b>方法</b> | 「世界の諸地域」の地域区分、主題（地球的課題）の記載及び知識及び技能を身に付けさせる記載例 |  |

|           | 「世界の諸地域」の地域区分 | 主題（地球的課題）        | 知識及び技能を身に付けさせる記載例   |
|-----------|---------------|------------------|---|
| <b>東書</b> | アジア州          | 人口・居住・都市の問題      | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本文の学習内容を説明したり、関連する内容を取り上げたりしている「未来にアクセス」というコーナーを設けている。</li> <li>○ 本文に「+解説」を付け、「+もっと解説」で本文の記述や言葉を補足したり、解説したりしている。</li> <li>○ 巻末に用語解説を設けている。</li> <li>○ 単元のまとめに学習内容を確認するコーナーを設けている。</li> </ul> |
|           | ヨーロッパ州        | 国家間の統合の問題        |   |
|           | アフリカ州         | 食料生産や経済発展での支援の問題 |   |
|           | 北アメリカ州        | 地域格差の問題          |   |
|           | 南アメリカ州        | 環境保全と開発の問題       |   |
|           | オセアニア州        | 多文化社会の形成の問題      |   |
| <b>教出</b> | アジア州          | 人口問題             | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本文の学習内容を説明したり、関連する内容を取り上げたりしている「地理の窓」「LOOK!」というコーナーを設けている。</li> <li>○ 本文に丸数字を付け、「側注解説」で本文の記述や言葉を補足したり、解説したりしている。</li> <li>○ 巻末に用語解説を設けている。</li> <li>○ 単元のまとめに学習内容を確認するコーナーを設けている。</li> </ul> |
|           | ヨーロッパ州        | 環境問題             |   |
|           | アフリカ州         | 人口問題、食料問題        |   |
|           | 北アメリカ州        | 多民族の共存の問題        |   |
|           | 南アメリカ州        | 環境問題、都市問題        |   |
|           | オセアニア州        | 多民族の共存の問題        |   |
| <b>帝国</b> | アジア州          | 都市・居住問題          | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本文の学習内容を説明したり、関連する内容を取り上げたりしている「地理プラス+」「未来に向けて」というコーナーを設けている。</li> <li>○ 本文に「解説」や丸数字を付け、「解説」や本文側注で本文の記述や言葉を補足したり、解説したりしている。</li> <li>○ 単元のまとめに学習内容を確認するコーナーを設けている。</li> </ul>                |
|           | ヨーロッパ州        | 経済格差             |   |
|           | アフリカ州         | 食料問題             |   |
|           | 北アメリカ州        | 生産と消費の問題         |   |
|           | 南アメリカ州        | 熱帯林の破壊           |   |
|           | オセアニア州        | 多文化の共生           |   |
| <b>日文</b> | アジア州          | 経済発展の地域格差や都市問題   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本文の学習内容を説明したり、関連する内容を取り上げたりしている「地理+α」というコーナーを設けている。「スキルUP」というコーナーを設けて、学習に必要な技能について解説している。</li> <li>○ 巻末に用語解説を設けている。</li> <li>○ 単元のまとめに学習内容を確認するコーナーを設けている。</li> </ul>                        |
|           | ヨーロッパ州        | 統合のかげで広がる格差と対立   |   |
|           | アフリカ州         | モノカルチャー経済からの自立   |   |
|           | 北アメリカ州        | 大量生産・大量消費の生活スタイル |   |
|           | 南アメリカ州        | 熱帯雨林の伐採による環境破壊   |   |
|           | オセアニア州        | 多様な民族の共生         |   |

【社会（地理的分野）】

|           |                             |
|-----------|-----------------------------|
| <b>観点</b> | <b>(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成</b>  |
| <b>視点</b> | ④見方・考え方を働かせるための工夫           |
| <b>方法</b> | 社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせるための記載例 |

| 社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせるための記載例 |   |
|-----------------------------|---|
| <b>東<br/>書</b>              | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻頭ページに、「地理を学ぶ5つのミカタ」を設定し、「見方・考え方」として、「位置や分布」「人と自然のかかわり」「場所」「結び付き」「地域」を示している。</li> <li>○ 編や章の導入に「地理のミカタ」として、「見方・考え方」を示し、学習のまとめに「見方・考え方」を働かせる学習活動を設定している。ページによっては、「見方・考え方」を働かせる視点の例を示したマークを示している。</li> <li>○ 「世界の諸地域」の節ごとのまとめに、「見方・考え方」と資料を結びつけた「資料を活用する力をきたえよう」というページを設けている。</li> </ul> |
| <b>教<br/>出</b>              | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻頭ページに、「地理の学習を始めるにあたって…」を設定し、「見方・考え方」として、「位置や広がり（分布）」「自然環境との関わり」「場所」「結びつき」「地域」を示している。</li> <li>○ 編や章の始めのページの下欄の「見方×考え方ははたらかそう」に、その編や章で働かせる「見方・考え方」を示している。</li> </ul>   |
| <b>帝<br/>国</b>              | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻頭ページに、「地理的な見方・考え方」を設定し、「見方・考え方」として、「位置や分布」「場所」「人間と自然の関わり」「他地域との結びつき」「地域の特徴」を示している。</li> <li>○ 章や節の振り返りのページに働かせる「見方・考え方」を示している。</li> <li>○ 地理的な見方・考え方を働かせて、自分の意見をまとめたり、他者と意見を交換したりする特設ページ「アクティブ地理AL」を設けている。</li> </ul>   |
| <b>日<br/>文</b>              | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻頭ページに、「地理的な見方・考え方って？」を設定し、「見方・考え方」として、「位置や分布」「場所」「人と自然のかかわり」「地域どうしのつながり」「地域」を示している。</li> <li>○ 編や章の導入ページや本文ページの見開きページごとに、その編や章で働かせる「見方・考え方」を示している。</li> </ul>   |

【社会（地理的分野）】

|           |                                |
|-----------|--------------------------------|
| <b>観点</b> | <b>(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成</b>     |
| <b>視点</b> | ⑤学習のまとめの工夫                     |
| <b>方法</b> | 単元末のまとめにおける多面的・多角的に考察させるための具体例 |

|                |  |   |
|----------------|--|---|
|                | <b>「世界の諸地域」の各地域のまとめにおける多面的・多角的に考察させるための具体例</b> |   |
| <b>東<br/>書</b> | アジア州   | 経済発展についての資料を発表し合い、それぞれの地域や国で経済が成長した理由と、それによって起きた変化や課題を整理した図を参考に、単元の探究課題「アジア州の経済発展は、地域にどのような影響をあたえているのでしょうか。」について、自分の言葉でまとめる。  |
|                | ヨーロッパ州   | ヨーロッパ統合のきっかけやよい影響、課題を表す資料を発表し合い、図に整理し、「今後統合を進めるべきか」について話し合う。単元の探究課題「ヨーロッパ州での国家間の統合は、地域にどのような影響をあたえているのでしょうか。」について、自分の言葉でまとめる。   |
|                | アフリカ州  | アフリカ州の課題についての資料を発表し合い、「産業」「民族」「医療」の三つの側面から、アフリカ州の課題と、それに対する取組についてまとめ、その他に考えられる取組を話し合う。単元の探究課題「アフリカ州では、どのような国際支援が必要でしょうか。」について、自分の言葉でまとめる。   |
|                | 北アメリカ州   | 経済発展についての資料を発表し合い、「農業」「工業」「生活文化」の三つの側面から、北アメリカ州（アメリカ合衆国）の発展の様子と移民とのかかわりを図に整理した図を見て、北アメリカ州の経済成長と移民のかかわりについて話し合う。単元の探究課題「北アメリカ州に多く見られる移民は、地域にどのような影響をあたえているのでしょうか。」について、自分の言葉でまとめる。 |
|                | 南アメリカ州   | 自然環境についての資料を発表し合い、南アメリカ州の開発と環境保全について図に整理する。単元の探究課題「南アメリカ州の開発と環境保全には、どのような課題があるのでしょうか。」について、自分の言葉でまとめる。  |
|                | オセアニア州   | 貿易や人々の移動の変化についての資料を発表し合い、「貿易の結び付き」「人の結び付き」の変化やその理由を図に整理し、異なる文化の人々との共存の在り方を話し合う。単元の探究課題「オセアニア州では、どのような地域との結び付きが強くなっているのでしょうか。」について、自分の言葉でまとめる。                                     |

【社会（地理的分野）】

| 「世界の諸地域」の各地域のまとめにおける多面的・多角的に考察させるための具体例 |        |   |
|---|--------|---|
| 教<br>出                                  | アジア州   | アジアの国や地域について、経済成長によって生じた影響を、よい点と課題に分けて整理した表から国・地域を1つ選んで、そこで生じている課題の原因について考え、「持続可能な社会」を実現するためにはどのような取組が必要か、グループで話し合う。                          |
|   | ヨーロッパ州 | 「ヨーロッパでは、環境対策としてどのようなことが行われているか。」「私たちは温暖化防止のために何ができるか。」について話し合う。ヨーロッパ統合のよい点と課題についてまとめる。   |
|   | アフリカ州  | アフリカ州への援助の例を、一つの国でもできること、多くの国が一体となつて行うこと、効果がすぐに出る・出ないの軸で示した図のどこに「食糧援助」「(産業への) 技術支援」「フェアトレード」があてはまるのかを考える。これらを踏まえて、アフリカの国々の支援や援助に必要な工夫について考える。 |
|   | 北アメリカ州 | アメリカ合衆国で盛んな工業を2つ挙げ、その理由について表に整理する。アメリカ合衆国で多民族が共存するために解決しなければならない問題を1つ挙げ、その問題を解決するために必要と考えることを書き出し、グループで話し合う。                                  |
|   | 南アメリカ州 | アマゾン川の開発について、流域の森林が失われている理由、流域で暮らす人々の生活の変化、南アメリカの経済成長との関係の順でまとめる。南アメリカで開発が進んだ要因について、「都市の変化」「産業の変化」「自然環境の変化」「生活・文化の変化」の視点で図に整理し、グループで話し合う。     |
|   | オセアニア州 | 各国の主な輸出品からオーストラリアと他の先進国を比較し、気付いたことをまとめる。観光地の規制をテーマにした文章から、「先住民」「ホテル経営者」「観光客」のそれぞれの立場でどのようなことを感じているか想像し、グループで話し合う。                             |



【社会（地理的分野）】

| 「世界の諸地域」の各地域のまとめにおける多面的・多角的に考察させるための具体例 |        |   |
|---|--------|---|
| 帝<br>国                                  | アジア州   | 1節の問い「アジア州では、急速に経済が成長したことによって、地域にどのような影響が生じているのだろうか。」について、アジア州における経済成長の背景と地域への影響を、国や地域ごとに図にまとめる。また、それを表す写真を1枚選び、グループでその写真を選んだ理由を発表し合う。                                  |
|   | ヨーロッパ州 | 2節の問い「ヨーロッパ州では、国どうしの結びつきの強まりによって、地域にどのような影響が生じているのだろうか。」について、ヨーロッパ州におけるEUの統合による効果とEUの統合によって生じた課題を、「人の動き」「物の動き」「通貨」「産業」の視点で図にまとめる。また、それを表す写真を1枚選び、グループでその写真を選んだ理由を発表し合う。 |
|   | アフリカ州  | 3節の問い「アフリカ州では、特定の産物に頼る経済によって、地域にどのような影響が生じているのだろうか。」について、アフリカ州におけるモノカルチャー経済の背景と地域への影響を図にまとめる。また、それを表す写真を1枚選び、グループでその写真を選んだ理由を発表し合う。                                     |
|   | 北アメリカ州 | 4節の問い「北アメリカ州では、巨大な産業が発達したことによって、地域にどのような影響が生じているのだろうか。」について、アメリカ合衆国における産業の特色と地域への影響を図にまとめる。それを表す写真を1枚選び、グループでその写真を選んだ理由を話し合う。   |
|   | 南アメリカ州 | 5節の問い「南アメリカ州では、農地や鉱山の開発によって、地域にどのような影響が生じているのだろうか。」について、ブラジルにおける農地や鉱山の開発による影響を「プラスの面」「マイナスの面」を埋め、図にまとめる。また、それを表す写真を1枚選び、グループでその写真を選んだ理由を発表し合う。                          |
|   | オセアニア州 | 6節の問い「オセアニア州では、他地域との結びつきの変化によって、地域にどのような影響が生じているのだろうか。」について、オーストラリアにおける、他地域との結びつきと地域への影響を図にまとめる。また、それを表す写真を1枚選び、グループでその写真を選んだ理由を発表し合う。                                  |

【社会（地理的分野）】

|        |        | 「世界の諸地域」の各地域のまとめにおける多面的・多角的に考察させるための具体例  |
|--------|--------|--|
| 日<br>文 | アジア州   | 学習した内容を「人口（都市・農村）」「資源・エネルギー」「産業（農業・工業）」「他地域との関係・国際協力」の視点で図に整理し、第1節の問い「アジアの国々は、どのように経済発展しているのでしょうか。」についてまとめる。地球的課題「経済発展の地域格差や都市問題」に含まれる課題を整理して1つ選び、解決策をグループで話し合う。 |
|        | ヨーロッパ州 | 学習した内容を図で整理し、第2節の問い「ヨーロッパでは、どのように統合が進められ、どのような課題があるのでしょうか。」についてまとめる。地球的課題「統合のかけで広がる格差と対立」を踏まえ、イギリスの離脱前と離脱後の人々の意見を参考にして、EU離脱についてグループで議論する。                        |
|        | アフリカ州  | 学習した内容を図で整理し、第3節の問い「アフリカの国々は、資源などに頼る経済をどのように克服しようとしているのでしょうか。」についてまとめる。地球的課題「モノカルチャー経済からの自立」を解決するために優先させるべき取組についてグループで議論する。                                      |
|        | 北アメリカ州 | 学習した内容を図で整理し、第4節の問い「北アメリカの産業は、世界にどのような影響をあたえているのでしょうか。」についてまとめる。地球的課題「大量生産・大量消費の生活スタイル」についての、アメリカの人々の意見を読み、共感できる考えについてグループで議論する。                                 |
|        | 南アメリカ州 | 学習した内容を図で整理し、第5節の問い「南アメリカの開発と環境保全は、どのような状況になっていて、何が問題になっているのでしょうか。」についてまとめる。地球的課題「熱帯雨林の伐採による環境破壊」を解決するために様々な立場の人々と熱帯雨林を守る方法について、自分の考えをまとめる。                      |
|        | オセアニア州 | 第6節の問い「オセアニアでは、どのように多様性を尊重する社会づくりを進めているのでしょうか。」についてまとめる。地球的課題「多様な民族の共生」について考えたことを踏まえ、自分の考える多文化社会について図でまとめ、グループで議論する。   |

【社会（地理的分野）】

|    |                              |
|----|------------------------------|
| 観点 | (ウ) 主体的に学習に取り組む工夫            |
| 視点 | ⑥単元の導入における工夫                 |
| 方法 | 各単元の導入における学習の見通しをもたせる工夫及び具体例 |

|        | 「日本の諸地域」における学習の見通しをもたせる工夫   | 具体例<br>(中部地方)  |
|--------|---|--|
| 東<br>書 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単元の導入において、1 ページを使い、テーマ、地図やグラフ、写真、キャラクターの吹き出し、コラム、県章・シンボルを記載している。</li> <li>○ 第1時と第2時の間に「～地方を～の視点で見てみよう」があり、探究課題や学習内容が示されている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ テーマ<br/>「産業に注目」</li> <li>○ 中部地方の地図</li> <li>○ 中部地方の面積・人口の帯グラフ</li> <li>○ 写真<br/>「中部地方で生産される農産物や工業製品」</li> <li>○ キャラクターと吹き出し<br/>「中部地方には、世界的に有名な自動車会社の工場があるね。」「ほかにどんな産業があるのだろうか。」</li> <li>○ コラム<br/>「高原野菜から顕微鏡まで」</li> <li>○ 探究課題<br/>「中部地方の産業は、どのような条件に支えられて発展してきたのでしょうか。」</li> <li>○ 学習内容<br/>「中京工業地帯と東海の産業」「中央高地の産業の移り変わり」「北陸の米づくりと個性ある地場産業」</li> </ul>  |
| 教<br>出 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単元の導入において、2 ページを使い、学習の視点、地図やグラフ、写真、キャラクターと吹き出しを記載している。</li> <li>○ 見開きページの右下に「学習の視点」を示すとともに、学習の視点について説明している。</li> </ul>                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習の視点<br/>「産業の視点から、中部地方の特色を考えていこう。」</li> <li>○ 中部地方の地図</li> <li>○ 中部地方の面積・人口の帯グラフ</li> <li>○ 写真<br/>「越前和紙を漉く」「世界有数の豪雪地帯を訪れる観光客」「越後平野の稲作地帯」「上高地」「小千谷縮の雪さらし」「出荷時期をずらして生産されるぶどう」「燃料電池車を製造する工場」「遠洋漁業の基地・焼津港」「茶畑が広がる丘陵地帯」</li> <li>○ キャラクターと吹き出し<br/>「それぞれの産業が、どのような工夫をしているのか、確かめよう。」「なぜ、ぶどうの出荷時期を遅らせるのかな。」</li> <li>○ 学習の視点の説明文<br/>「中部地方には、農業、工業、観光などさまざまな産業が発達し、その重要性は年々増しています。中部地方でこれらの産業が発展した背景や特色を考えていきましょう。」</li> </ul> |

【社会（地理的分野）】

|        | 「日本の諸地域」における学習の見通しをもたせる工夫   | 具体例<br>(中部地方)  |
|--------|---|--|
| 帝<br>国 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単元の導入において、3ページを使い、イラスト、地図、写真、キャラクターと吹き出しを記載している。</li> <li>○ 単元の導入の3ページ目の下部に、「～地方の学習を見通そう」を設け、学習の視点を示し、4ページ目の上部に節の問いを記載している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ イラスト<br/>「兼六園」「黒部ダム」「長岡まつり大花火大会」「福井駅と恐竜広場」「鶉飼」「名古屋城と本丸御殿」「善光寺」「ワインセラー」「オートバイの生産」</li> <li>○ 中部地方の地図</li> <li>○ 写真<br/>「名古屋港の自動車運搬船と自動車」「眼鏡枠の生産」「白川郷の合掌造り」「水田が広がる越後平野」「金沢箔の工房」「春先の立山黒部アルペンルート」「トイレットペーパーをつくる工場」「初夏の上高地」「甲府盆地を走る山梨リニア実験線」</li> <li>○ キャラクターと吹き出し<br/>「なんでこんなにたくさんの自動車が集められているのかな。」「中部地方では、自動車だけじゃなくて、いろいろなモノがつくられているね。」</li> <li>○ 中部地方の学習を見通そう<br/>「この節では、写真1～9のような中部地方の様子が、特に「産業」の視点とどのように関係しているのかを中心に考えていこう。」</li> <li>○ 4節の問い<br/>「中部地方の産業は、自然環境や交通網の整備を背景に、どのように変化してきたのだろうか。」</li> </ul> |
| 日<br>文 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単元の導入において、2ページを使い、テーマ、地図、グラフ、写真、キャラクターと吹き出しを記載している。</li> <li>○ 第1時と第2時の間に「節の問いを立てよう」があり、節の問いやキーワードが示されている。</li> </ul>                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ テーマ<br/>「産業をテーマに」</li> <li>○ 中部地方の地図</li> <li>○ 中部地方の面積・人口・県内総生産の帯グラフ</li> <li>○ 写真<br/>「名古屋港のふ頭で自動車運搬船に積みこまれる多くの自動車」「白川郷の合掌造り」「富士山をのぞむ日本の東西交通網」「広大なチューリップ畑」「山梨リニア実験線」「せともの祭」「秋の白米千枚田」</li> <li>○ キャラクターと吹き出し<br/>「こんなに多くの自動車は、どこで生産されているのかな。」</li> <li>○ 第4節の問い<br/>「中部地方では、どのようにして特色のある産業が盛んになったのでしょうか。」</li> <li>○ 学習の見通しをもとう<br/>第4節のキーワードを5つ挙げ、節のテーマとともに示している。</li> </ul>  |

【社会（地理的分野）】

|           |                             |
|-----------|-----------------------------|
| <b>観点</b> | <b>(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫</b>    |
| <b>視点</b> | ⑦課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための工夫 |
| <b>方法</b> | 「地域の在り方」における調査の手順及び方法の記載例   |

|                | 調査の手順               | 方法の記載例  |
|----------------|---------------------|---|
| <b>東<br/>書</b> | ○ 課題をとらえ、問いを立てよう    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学んできたことをふり返ろう</li> <li>・地域とテーマを決めよう</li> </ul>  |
|                | ○ 地域を調査し、課題をとらえよう   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の特色と課題を調べよう</li> <li>・地域の移り変わりに注目しよう</li> </ul>   |
|                | ○ 課題の要因や影響を考察しよう    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ほかの地域を調べて比べよう</li> <li>・要因や影響を考察しよう</li> </ul>  |
|                | ○ 解決策を議論し、構想しよう     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題の解決策を構想しよう</li> <li>・構想したことを議論して深めよう</li> </ul>   |
|                | ○ 地域のこれからを提案し、発信しよう | <ul style="list-style-type: none"> <li>・説得力のある提案をしよう</li> <li>・地域の未来像を広く発信しよう</li> <li>・発信方法の例<br/>「プレゼンテーションソフトの活用」「動画を使った発信の仕方」</li> </ul>              |
| <b>教<br/>出</b> | ○ 地域の課題をとらえる        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の課題をとらえる</li> <li>・都市の課題</li> <li>・農村の課題</li> </ul>   |
|                | ○ 地域の課題を調べよう        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域調査の方法を振り返ろう</li> <li>・地域調査を始めよう</li> </ul>  |
|                | ○ 地域の特色をまとめよう       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・水俣市を例に</li> <li>・水俣病の発生</li> <li>・環境改善に向けて</li> </ul>   |
|                | ○ 調査結果を整理しよう        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題を整理する</li> <li>・調査結果をまとめて発表準備に取りかかろう</li> </ul>   |
|                | ○ 調査結果を地域に伝えよう      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・発表会をしよう</li> <li>・研究をさらに広げていくために</li> <li>・発信方法の例<br/>「スライドにまとめる」「ポスターにまとめる」</li> </ul>                           |
| <b>帝<br/>国</b> | ○ 追究するテーマを決めよう      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまな課題を振り返ろう</li> <li>・追究するテーマを決めよう</li> </ul>   |
|                | ○ 地域の実態を調査しよう       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料と情報を収集しよう</li> </ul>  |
|                | ○ 地域の魅力と課題を分析・考察しよう | <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料と情報を整理しよう</li> <li>・魅力と課題の要因を考察しよう</li> </ul>   |
|                | ○ 地域の課題の解決策を構想しよう   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題の解決に向けた取り組みを調べよう</li> <li>・解決策を構想しよう</li> <li>・構想した解決策を議論しよう</li> </ul>   |
|                | ○ 解決策と魅力を高める提案をしよう  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・構想したことをまとめよう</li> <li>・地域社会に向けて発信しよう</li> <li>・持続可能な社会を目指す一員として</li> <li>・発信方法の例<br/>「プレゼンテーション資料の作り方」</li> </ul> |

【社会（地理的分野）】

|        | 調査の手順              | 方法の記載例   |
|--------|--------------------|--|
| 日<br>文 | ○ 考察・構想するテーマを決めよう  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・持続可能な社会づくりを意識する</li> <li>・多面的・多角的に考察・構想する</li> </ul>                         |
|        | ○ 地域の課題の解決策を考察しよう  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の課題の解決策を考える</li> <li>・課題の解決につながる取り組みを調べる</li> </ul>                        |
|        | ○ 情報を集めて構想しよう      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の在り方を構想する情報を集める</li> <li>・情報を共有して構想する</li> </ul>                           |
|        | ○ 構想した内容を整理してまとめよう | <ul style="list-style-type: none"> <li>・構想した内容をまとめる</li> <li>・提案を地域に発信する</li> </ul>                                  |
|        | ○ 構想した内容を発信しよう     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・より良い地域の将来像を発信し、社会に参画しよう</li> <li>・発信方法の例<br/>「1枚の地図にまとめる」「発表会を開く」</li> </ul> |

【社会（地理的分野）】

|           |                               |
|-----------|-------------------------------|
| <b>観点</b> | (エ) 内容の構成・配列・分量               |
| <b>視点</b> | ⑧ 単元や資料等の配列・分量                |
| <b>方法</b> | 総ページ数、各大項目のページ数、巻末資料等の内容のページ数 |

|    | 総ページ数 | 「世界と日本の地域構成」のページ数 | 「世界の様々な地域」のページ数 | 「日本の様々な地域」のページ数 | 巻末資料の内容<br>(ページ数)                            | その他 |
|----|-------|-------------------|-----------------|-----------------|--|-----|
| 東書 | 294   | 26                | 110             | 136             | 用語解説 (4)<br>さくいん (4)<br>巻末資料 (3)             | 11  |
| 教出 | 310   | 20                | 103             | 157             | 用語解説 (6)<br>さくいん (4)<br>巻末資料 (3)             | 17  |
| 帝国 | 310   | 24                | 102             | 166             | さくいん (4)<br>巻末資料 (3)                         | 11  |
| 日文 | 318   | 24                | 104             | 163             | 統計資料 (4)<br>用語解説 (4)<br>さくいん (4)<br>巻末資料 (4) | 11  |

|           |  |
|-----------|--|
| <b>観点</b> | <b>(エ) 内容の構成・配列・分量</b>                         |
| <b>視点</b> | ⑨防災教育の充実                                       |
| <b>方法</b> | 「日本の地域的特色と地域区分」及び「日本の諸地域」における自然災害、防災及び減災に係る具体例 |

|                | 日本の地域的特色と地域区分  | 日本の諸地域（九州地方、東北地方、北海道地方）   |
|----------------|--|---|
| <b>東<br/>書</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 日本で見られるさまざまな自然災害<br/>2ページを使い、日本で起こる自然災害について記載している。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地震や火山による災害</li> <li>・気象による自然災害</li> </ul> </li> <li>○ 防災・減災に向けた取り組みと課題<br/>2ページを使い、防災・減災の取組について記載している。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害への対応と支援</li> <li>・災害の被害を小さくする工夫</li> <li>・自助・共助と防災の課題</li> </ul> </li> <li>○ 特設ページでは、2ページを使い、ハザードマップの読み取り方と公共交通機関が災害からの復興に果たす役割について記載している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 九州地方<br/>2ページを使い、火山灰、梅雨や台風等の災害と対策について記載している。</li> <li>○ 東北地方<br/>2ページを使い、東北地方太平洋沖地震を含む東北沿岸でこれまでに発生した地震と、被害の記憶を引き継ぐ取組等について記載している。</li> <li>○ 北海道地方<br/>1ページを使い、雪の中で生活するための工夫、火山による被害を減らす取組について記載している。</li> </ul>          |
| <b>教<br/>出</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自然災害に向き合う<br/>2ページを使い、日本で起こる自然災害について記載している。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地震と火山</li> <li>・気象災害</li> </ul> </li> <li>○ 災害から身を守るために<br/>2ページを使い、災害から身を守るために、国や県、地域社会でなされている努力について記載している。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害予測の大切さ</li> <li>・災害への支援と復興</li> </ul> </li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 九州地方<br/>2ページを使い、火山活動による災害、自然を利用する暮らしの工夫や防災について記載している。</li> <li>○ 東北地方<br/>特設ページで、2ページを使い、災害発生時の様子や復興への取組、まちづくり計画、東日本大震災の経験を受け継ぐ取組について記載している。</li> <li>○ 北海道地方<br/>「火山と温泉」という見出しで、観光地の災害への備えや避難訓練等について記載している。</li> </ul> |
| <b>帝<br/>国</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 日本のさまざまな自然災害<br/>2ページを使い、日本で起こる自然災害について記載している。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地震と火山災害が多い日本</li> <li>・さまざまな気象災害</li> </ul> </li> <li>○ 自然災害に対する備え<br/>2ページを使い、自然災害からの被害を防いだり減らしたりする取組について記載している。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災・減災の取り組み</li> <li>・災害発生時の対応</li> </ul> </li> <li>○ 特設ページでは、2ページを使い、イラスト地図やハザードマップを使って、災害の危険性と防災情報の活用について記載している。</li> </ul>                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 九州地方<br/>1ページを使い、火山の噴火と対策について記載している。</li> <li>○ 東北地方<br/>特設ページで、1ページを使い、高台に移転した宮古市田老地区の取組について記載している。</li> <li>○ 北海道地方<br/>2ページを使い、北海道の人々の雪や寒さへの対策について記載している。</li> </ul>  |



【社会（地理的分野）】

|        | 日本の地域的特色と地域区分   | 日本の諸地域（九州地方、東北地方、北海道地方）   |
|--------|---|---|
| 日<br>文 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自然災害からみた日本の地域的特色と地域区分<br/>2ページを使い、日本で起こる自然災害について記載している。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地震・火山による災害</li> <li>・さまざまな気象災害</li> <li>・自然災害からみた日本の地域区分</li> </ul> </li> <li>○ 災害にそなえるために<br/>2ページを使い、防災・減災の取組を記載している。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災・減災へのくふう</li> <li>・どのように災害と向き合うか</li> </ul> </li> <li>○ 特設ページでは、2ページを使い、地震の仕組みや南海トラフ巨大地震への備え、ハザードマップの使い方について記載している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 九州地方<br/>2ページを使い、九州地方の自然災害と対策について記載している。</li> <li>○ 東北地方<br/>4ページを使い、東日本大震災による影響と復興、災害に強い地域づくりについて記載している。特設ページで、1ページを使い、災害に備えた交通網について記載している。</li> <li>○ 北海道地方<br/>2ページを使い、寒さと雪への対策について記載している。</li> </ul> |

【社会（地理的分野）】

|           |                           |
|-----------|---------------------------|
| <b>観点</b> | (オ) 内容の表現・表記              |
| <b>視点</b> | ⑩学習内容との関連付けがなされた絵図・写真等の活用 |
| <b>方法</b> | 資料の種類（二次元コードを含む）及び掲載数     |

|    | 「世界の諸地域」 |    |    |        |        |
|----|----------|----|----|--------|--------|
|    | 写真       | 絵図 | 地図 | 図表・グラフ | 二次元コード |
| 東書 | 149      | 13 | 41 | 42     | 38     |
| 教出 | 113      | 8  | 45 | 37     | 7      |
| 帝国 | 149      | 21 | 34 | 50     | 20     |
| 日文 | 134      | 18 | 28 | 67     | 48     |

|           |                                      |
|-----------|--------------------------------------|
| <b>観点</b> | (オ) 内容の表現・表記                         |
| <b>視点</b> | ⑪掲載されている情報を精選し、視点を明確にする工夫            |
| <b>方法</b> | ユニバーサルデザインに関する配慮がなされたフォント・グラフ及びレイアウト |

|    | フォント・グラフ  | レイアウト  |
|----|---|--|
| 東書 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ユニバーサルデザインフォントを使用している。</li> <li>○ 円グラフと帯グラフでは、グラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータは縁取りして区切っている。</li> <li>○ 複数のデータを表現した折れ線グラフでは、データごとに色を変えている。</li> </ul>       | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本文ページのレイアウトを統一している。</li> <li>○ ページの隅の色分けと見開き右側のインデックスで学習内容を示している。</li> </ul>                |
| 教出 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ユニバーサルデザインフォントを使用している。</li> <li>○ 円グラフと帯グラフでは、グラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータは縁取りして区切っている。</li> <li>○ 複数のデータを表現した折れ線グラフでは、データごとに色を変えている。</li> </ul>       | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本文ページ見開きのレイアウトを統一している。</li> <li>○ ページの隅の色分け、見開きページ左下の文字と見開き右側のインデックスで学習内容を示している。</li> </ul> |
| 帝国 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ユニバーサルデザインフォントを使用している。</li> <li>○ 円グラフと帯グラフでは、グラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータは縁取りして区切っている。</li> <li>○ 複数のデータを表現した折れ線グラフでは、データごとに色を変え、実線で示している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本文ページのレイアウトを統一している。</li> <li>○ ページ隅の色分けと見開き右側のインデックスで学習内容を示している。</li> </ul>                 |
| 日文 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ユニバーサルデザインフォントを使用している。</li> <li>○ 円グラフと帯グラフでは、グラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータは縁取りして区切っている。</li> <li>○ 複数のデータを表現した折れ線グラフでは、データごとに色を変えている。</li> </ul>       | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本文ページのレイアウトを統一している。</li> <li>○ ページ隅の色分けと見開き右側のインデックスで学習内容を示している。</li> </ul>                 |